

2月 定例教育委員会会議録

- | | | | |
|---|------|--|--------------------|
| 1 | 日 時 | 平成30年2月21日(水) | 午後5時30分から午後6時50分まで |
| 2 | 会 場 | 磐田市役所 西庁舎3階 | 特別会議室 |
| 3 | 出席者 | 村松啓至教育長 青島美子委員 杉本憲司委員 秋元富敏委員 鈴木好美委員 | |
| 4 | 出席職員 | 教育部長 教育総務課長 学校給食課長 学校教育課長 中央図書館長 文化財課長 地域づくり応援課長 幼稚園保育園課長 学府一体校推進室長 | |
| 5 | 傍聴人 | 0人 | |

(進行委員：青島美子委員)

1 開会

2 教育長あいさつ・教育長報告

まず、平昌オリンピックの日本選手の活躍は、本当に素晴らしいと思います。金メダルをとった羽生選手、小平選手をはじめ、数多くの感動を私たちに与えてくれています。特に、高木美帆選手は、前回には代表にも選ばれずに苦しい8年間であったと思いますが、何が彼女をあそこまで高めたのか、精神的な強さを感じます。あの若さであれだけの精神的な強さをもつことができるのですね。そして、中学生の6段藤井棋士も含め、日本人としての勇気を感じさせてくれた若者たちに心から感謝しています。

話は変わりますが、先日はいわた俳句大会に参加いただき、誠にありがとうございました。3人の先生方を中心に、参加された皆様方のおかげで、磐田市にとって大変貴重な時間を過ごすことができました。ワークピアのロビーには、文化財課、歴史文書館が中心となって、野口在色を中心とする磐田の俳諧についての企画展を開いていただきました。その一角にあった「青楓邸」について皆さん御存知でしょうか。江戸時代、1727年ごろ、磐田市鎌田に江塚さんというお医者さんがいらして、その方が作った庭園です。ここへ日本を代表する国学者である賀茂真淵らがきて、俳句を詠んだ記録が残されています。岩田神社に残されていた俳額も一昔前の磐田の地の文化を強く感じさせてくれます。デジタル化した現代社会の中で、日本人としての心を忘れてはならないと思いますし、文化とは何か、自分自身の心に問いかけることが必要であると思います。

さて、話は大きく変わりますが、磐田市マスタープランが議会に提出されました。都市計画を中心としたいろいろな内容が示されています。たとえば、都市環境の基本計画として、良好な景観形成、交流・レクリエーション拠点機能の充実、歴史的資源の保全・活用などが示されています。その地域にあった方針、事業が進めていけるようにしていきたいものです。

地域づくりという観点から考えてみると、マスタープランが地域づくりの根本的な考え方や方針になり得るのかという疑問が残ります。たとえば、大きなショッピングセンターなどが、ある地域にできれば、そこが本当に賑わうかということ、確かに人の流れはできるでしょうが、ものが動き、人が動きますが、地域が活性化されるとは限りません。駅前の活性化をしていきたい、昔のにぎわいを復活させたいなどの意見が数多く出されます。果たして、活性化するにはどのようなことをイメージすればいいのか、地域性とは何か、お互い共通理解することができるのか、つまりイメージできるのかを考えていくことが必要です。学府一体校は、地域づくりの核になると考えています。そのイメージの共有化をさらに進めていき、街づくり、地域づくりを、懸命に語り合うときが来て

いると思います。

3 前回議事録の承認

1月19日定例教育委員会

- ・修正の意見なし
- ・原案のとおり承認

4 教育部長報告

2月市議会と当初予算について、報告します。

2月の市議会につきましては、既に2月16日から始まっており、3月22日までの35日間の会期となっています。2月議会では、平成30年度予算をはじめ、条例改正など全部で38議案が提出され、本会議、予算委員会、常任委員会で質疑が行われます。一般質問と代表質疑等は、既に通告があり、概要につきましては次回の委員会で配付の上、報告をしたいと思います。

2点目ですが、平成30年度予算の概要についてです。1月の教育委員会では、教育委員会所管の主要事業について報告をしましたが、今回は市全体の予算の概要についてとなります。

「予算編成の基本方針」については、また、お読みいただければと思います。

2ページ目「2予算の全体像」の一般会計ですが、ここに記載のとおり海岸堤防や、ながふじ学府小中一体校、JR新駅や新東名磐田スマートインターチェンジなど、大規模事業の推進による事業費の増の他、(仮称)中泉こども園の整備などに伴う普通建設事業費の増額に加え、障害者福祉サービス、小規模保育などにおける扶助費が増額になったことなどにより、29年度当初に比べ5億9,000万円、0.9%増額の632億1,000万円となり、昨年度に引き続き合併後最大の予算規模になりました。

4ページをご覧ください。「5その他(行政組織機構の整備)」ですが、平成30年度は子育て支援・相談機能と図書館機能をバランスよく融合させるとともに関連する情報の発信を通じて、子供の成長を取り巻くさまざまな思いや不安、悩みに寄り添い、解決の糸口を探り、人々がみずから解決していこうとする生きる力を支援する施設を運営する課として、こども部に「ひと・ほんの庭にこっと」を設置しました。これが豊田図書館改修後の新たな公共施設を所管する組織となります。

5ページ以降は優先事業ということで、30年度の新規・拡充事業が分野ごとに記載されています。

次に20ページをご覧ください。20ページは、②歳出ということで、表と円グラフがありますが、これは分野ごとの歳出予算の内訳となっています。表の10番目に教育費の項目があります。教育費は67億7,900万円余ということで、昨年比で3,400万円、0.5%の減となっています。

その理由というものが、最後の22ページです。その中ほどに教育費が書かれています。(仮称)中泉こども園整備事業や遠江国分寺跡整備事業、小中学校体育館照明LED化に係る経費の増額はあるものの、磐田北幼稚園再築事業の皆減などにより、前年度比より、3,400万円余減っているということが書かれています。このように数字上、マイナスとなっていますが、いじめや不登校などに対応するための市費負担教員や、LD等通級指導教室の拡充を図るための予算確保等が一方でできました。

現在、ながふじ学府一体校の基本設計を行っており、来年度以降順調にいけば数十億円という建設費が待っています。そのことを踏まえれば、かなり充実した予算ではないかと思っています。

その他詳細につきましてはご覧いただきまして、不明な点などありましたら、お問い合わせいただければと思います。

<質疑・意見>

○部長から説明ありましたが、例えば、ふるさと先生の話があります。ふるさと先生は、平成 17 年度に少人数学級の実現ということで、日本の国の中で初めて市で教員を採用したわけです。県内でも着目されたところですよ。それを実現したのは御前崎だけで、しおかぜ先生を設置したわけです。

しかし、大きく変わった。国が 35 人学級をやる、その後、県がそれを実現してきたわけです。磐田市としては、そこで方向転換するしかない。そこへ 8 年前に生まれてきたのが小中一貫教育。だから条例を変えるしかない。条例を変えないと小中一貫教育に、市の教員を採用することができないわけですね。17 年に作った 35 人学級がもう無くなるのです。全て、国と県がやってくれるのです。つまり小中一貫教育に市の教員を使いますよ、ということで変えてもらった。

それから今回条例を変えて何に使うかっていうと、最後に部長も説明してくれたように、生徒指導を中心とした教員を任用しました。生徒指導を中心とした教員を任用するなんていうのは、昔ではあり得ないことです。今度新しく市で単独で採用しますが、ものすごい転換です。歴史的転換であるなと捉えています。それを認めてもらえるかどうかというのは、これからの議会、具体的に進めていくというのがポイントになると思います。そういう思いでいるということです。

5 議事

(1) 議案第 10 号 (仮) 平成 30 年度の教育目標と教育長・教育委員からお伝えしたいことについて

今回は前回お示ししたものをベースに印刷業者から校正原稿が上がってきているので、それを御確認していただきたいと思います。

「道しるべ」のところですが、こちらは文字を大きくして見やすくしました。

計画体系が書かれているところですが、主要な事業について、教育委員会の目標のところの文字を大きくして見やすくしました。それから、教育委員からのメッセージは、前回の委員会以降に修正をいただいたものを反映してある内容になっています。なお、こちらにつきましては、事前送付資料のとおり、全体を、ですます調に統一して、文章を一部修正した案をお示ししました。

それから、「1 これまでに進めてきた主な事業」というところになりますが、そちらについては、平成 29 年度の実績を反映した最新の内容としてあります。具体的には、6 番のところだと、ながふじ一体校の基本設計、7 番のアレルギー対応の手引き、14 番一番下になりますけど、磐田北小のプールの改築などを盛り込んであります。

次に「2 現在進めている主な事業」のところになります。こちらでも来年度当初予算を反映した最新の内容としてあります。こちらでは、(1) の 4 のところに小中学校体育館、照明 LED 化、8 の LD 等の通級教室の拡充。(2) のところだと、2 のところで、磐田市「ひと・ほんの庭にこっと」との連携などを盛り込んでいます。同じく 4 ページのこれからの課題のところでは、6 として、学校給食施設のあり方検討と整備計画の策定を追加してあります。また、各ページに掲載している写真やイメージ図についても、それぞれ差しかえをさせていただいています。

なお、こちらの冊子のタイトルですが、現在は仮称として「平成 30 年度の教育目標と教育長・教育委員からお伝えしたいこと」としてありますが、このままの表題でよろしいかということについても御意見をいただければと思います。

本日、お示しした案にいただいた御意見を反映させて、各担当課で確認をしたものをもって最終的に印刷をしていきたいと思いますので、御確認をいただければと思います。

<質疑・意見>

○これからの段取りはどうなりますか。

○最終的に御意見いただいた内容を反映させ、新年度までの印刷に間に合わせる形になります。

○いつまで変更がきくのですか。

○3月10日くらいまでです。

○これは「磐田市の教育の概要」に代わるものですか。

○そうです。「磐田市の教育の概要」の目的自体が年度当初に配付をして、教職員等へ教育委員会の大きな方針について理解をしていただくというもので、それについては変わらずに、伝わりやすい形に変えていこうということです。その目的に沿ったような分かりやすいタイトルに、案の段階では書いてあります。

○僕の印象ですが、トップページの一番上は、「磐田市の教育の概要」でいいのではないですか。

○私はむしろこちらの方がいいと思います。すごく優しく伝わるじゃないですか。お伝えしたいことって。これをメッセージだとか、概要だとかっていうふうにしちゃうよりも、この方が、きれいに伝わっていくかなと思います

○事務局では「磐田市の教育の概要」として、副題みたいにこのタイトルを付けようと思いましたが、あまりにも長過ぎて文字数も多いということで、このような形にさせていただきました。

○「平成30年度の教育委員会と教育長・教育委員からお伝えしたいこと」、これがメインタイトルですね。

○そうです。

○「お伝えしたいこと」はいいのですが、「これまでしてきたことと、していること、これからのこと」の内容は検討するのですか。

○一応、このままで。最新の内容を書いてあります。

○内容が年度途中でかなり変更して、もうこれ要らないなと思うのが色々出てくるので、初年度にこれを出すということで、思い切って精選が必要ではないでしょうか。

例えば、教育施策と学校教育ということで13の小中学校にふるさと先生が入っていますが、35人学級の実現は17年からやっていますが、小中一貫教育と、生徒指導をやりますよということが表現できているかどうか。

○そうですね。年度当初は、教員の方を中心に配りますから。ただ、年度途中になってからは、1、2ページだけ分離して印刷するとか、3、4ページだけで分離して印刷できるような仕様で発注かけますから、年度途中に変更してと考えたのですが、ただ、年度途中で内容の変更はできないですよ、今の案だと。

○成果品として納品されますので、3月10日時点で全部固めて発注かけるっていう形になります。

○それが1年間、これが確定だっっていうのは難しい問題だと思う、考えないと。出すなら平成30年4月現在とする。

○そうですね。それで、右端に30年4月とは入れてあるのですが。

○4月現在ですよ。出すならね。それとこれを出す時に、本当に正式のプリントで出すのがいいのか、途中訂正がありますよ、というような形でやるのかとか。これ難しいと思います。

○ある程度、ワープロで作るということはできますので。ただ、こんなきれいにはならないです。今回はあれもこれも書き過ぎている感もあるので、もうちょっと中心的なものに絞って配付をして、年度途中からは、随時、アップデートするような形で、ワープロで作直しをして、それを配るというふうにしましょう。文字数も多いかな、と思いますので。

○もう一度総合的に見て、3月上旬までに確定版をお願いします。内容的には1年間の中で大きく変わっていくので、精選する中で再度検討をお願いします。

検討内容は少しありますが、大筋、議案第10号についてはよろしいでしょうか。

<議案の承認>

一同同意

審議の結果、議案第10号は原案どおり承認された。

6 報告事項

(1) 地域づくり応援課

<質疑・意見>

なし

(2) 幼稚園保育園課

17日の磐田北幼稚園の竣工式にはお忙しい中、御出席をいただき、ありがとうございました。おかげさまで、無事終わりました。午後には内覧会を行いまして、たくさんの方が来ていただきました。地域の方や来年、幼稚園に入園するお子さんを連れて、お父さん、お母さんも一緒に来てくださって、入園を楽しみにしているという姿が見られましたので、本当によかったなと思っています。皆さんにいろいろ御協力もいただきまして、ありがとうございました。

<質疑・意見>

なし

(3) 教育総務課

ながふじ学府一体校建設検討会ですが、2月7日に最後の検討会を終えましたので、報告します。

まず、全体配置です。グラウンドは、なるべく広く確保し、一体的にすることで、小学生も中学生も臨機応変に使えるようにしました。プールを南側に配置し、その北側2階に体育館を配置しました。プールの下は駐車場になります。グラウンド東、北、西面には、外周にマラソンコースともなり得る散策路を設け、地域の方の公園的利用も可能としました。また、イベント時は、臨時駐車スペースとしての利用も想定しています。

次に、1階です。校舎棟は、昇降口を入ると正面に「ながふじホール」、その両側に大階段を配置します。ながふじホールは、ちょっとしたイベントや発表会にも使用でき、大階段は、その時の観覧席にもなります。体育館の下には、放課後児童クラブ、武道場を配置し、今回の一体校の大きな特徴である「共同調理場」と地域住民や保護者等が、自由に利用できる「ながふじ図書館」を配置します。ながふじ図書館は、蔵書数4万冊程度を想定、読み聞かせスペースや調べ学習スペース、自習スペースを整備する予定です。また、司書等の事務職員も配置し、一般の貸出機能も有する図書館となります。校舎棟1階には、地域住民が気軽に立ち寄ることができ、コミュニティ・スクールの拠点となる「地域連携室」を整備します。また、南側に異学年の交流給食、地域住民との交流給食の他、学年集会やPTAの会合等、多目的に使用できるランチルームを配置します。

続いて2階です。屋内運動場は、メインとサブに分け、小学生と中学生がどちらも使えるように

します。プールは、25メートル×9コースの大プールと小プールを設置します。

続いて3階、4階です。校舎棟は、南側を普通教室、北側を特別教室として配置します。普通教室内は同じ設えとし、学級数の変動にフレキシブルに対応できるように考えています。各階には、オープンスペースや相談室、教材庫等も配置しました。4階には、和室も配置しました。

今後のスケジュールですが、平成30年度に実施設計を行いまして、平成31、32年度で建設工事、平成33年度に開校という予定です。既存校舎解体、グラウンド整備に関しては、開校後約1年かけて行う予定です。

<質疑・意見>

○落ちついていていいですね。よくここまでになりましたね。周りがいいです。マラソンコース、それから、駐車スペースにもなっている。

○1周どれくらいになるのですか。

○600メートルくらいです。

○開校当初の学級数っていうのは、どのくらいですか。

○小学校がオール3で18です。中学校が4、5、4で、13。両方あわせて31学級です。

特別支援学級は3学級、4になる可能性もあります。今、この計画案では4学級あります。

○将来的に、豊田東小の合併を含めても大丈夫そうですか。

○そうですね。2階、3階、4階で33教室、1階に4教室、北側の多目的教室兼外国語教室も入れて40教室あります。クラス数に関しては余裕があると考えています。

○3ページ目のところに多目的教室兼外国語教室があり、東小児童との交流スペースとしても使えるということです。道場もあるし、ランチルームもあります。色々なところに子供たちが交流を行えるスペースが存在します。

○東小から、こちらへ行きたい子がいないですか。

○それが情報によると、行くならみんな一緒に行きたいと言っているようです。子供たちも親も、今の東小の教育に満足しているようです。ちょうど、規模も2学級、1つか2つ3学級になるかならないくらいで落ちつき、勉強もみんなできて、みんないい子供たちだと校長先生も言っていました。校舎がきれいで、落書きとかも無いそうです。本当に落ちついているし、地域の方も協力的で、とてもよい教育環境なので、行く時はみんなで行きたいようです。

○実施事業の青少年健全育成大会に今回参加させてもらいました。緊張感というか一体感があって、非常に僕は良かったのではないかと思います。立派な先生のお話を聴くのもいいですが、現場を知り尽くした人たちがステージにいて、聴いている方も非常に関心がある保護者とか先生。今回は実のあったものになったのではないかとの印象を受けています。

○私もそう思いました。とても、いい大会だったなと思いました。

○ありがとうございます。市長も台本無しで、本音で話し合おうという、それをみんなに見ていただこうということで、客席の方でも若干の空きがありましたが、数ではない質だということで、今までは竜洋の方でやってもっと多い人数であった訳ですけど、今回はああいう会場にして、なおかつ来ていただいた方に伝わればいい。真剣に悩んでいて、真剣に取り組もうとといったところがこれからの方向性だからということで、そこが間違いなく伝わったろうと私どもも思っています。

(4) 学校給食課

2点報告事項があります。平成30年度磐田市学校給食物資納入業者の指定について御参照くだ

さい。学校給食物資納入業者の指定につきましては、磐田市学校給食物資購入規則にのっとり行っています。今回、平成30年度分として、これまで納入実績があった業者等を中心に募集を行い、その結果、資料に記載の75件の申請がありました。審査した結果、いずれも適格と判断いたします。今回、新たに申請があった主な説明ですが、23番のNPO法人いわた夢クラブは、地域伝統の野菜である見付カボチャを生産し販売している業者です。24番の株式会社スマートアグリカルチャー磐田は、11月の委員会で、平成29年度追加ということで説明させていただいています。25番の笹原果実から28番の西尾満までは、野菜や果物を生産する地域就農者です。なお、2月8日に開催した平成29年度第3回学校給食運営委員会において、承認をいただいています。

続きまして平成29年度磐田市学校給食物資納入業者の追加指定についてです。これにつきましては、今年度内に納入可能な食材料である2つの事業者から申請があったものです。1番の笹原果実、2番の西尾満ともにイチゴを生産している事業者です。なお、これにつきましても、学校給食運営委員会において、承認をいただいています。

<質疑・意見>

なし

(5) 学校教育課

29年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果が出ていますので、御確認ください。

データが昨日の夕方届きまして、早い方がいいと思い本日報告します。

今回公表する本市の調査結果についてですが、50m走や反復横とびは小中ともに良好です。特に、50m走については、昨年度に比べ向上が見られます。

反面、握力が全体的に低調です。数値も中2男子以外は低下しています。

小学校20mシャトルラン及び中学校持久走については、小学校の20mシャトルランは全国平均を下回っていますが、昨年度に比べ小中学校ともに向上しています。

それから課題のボール投げは、中学生は向上し改善が見られましたが、小学生については改善が見られないのが現状です。

ホームページには、できるだけ早くアップをして、公表につなげていきたいなと思います。学校についても、学校の平均と結果やその分析について保護者へ公表をします。

<質疑・意見>

○シャトルランは、全身持久力ですか。

○中学校の1,500m走と1,000m走と同じ括りでいくと、限られた時間の中で何回往復できるかという種目ですので、瞬発力というよりも持久力になってくると思います。あと、上体起こしが筋持久力になって、腹筋を何回できるかというのです。

○反復横跳びのことを言っているわけですか。

○反復横跳びは、瞬発力になると思います。上体起こしが筋持久力です。

○そうすると、全身持久力はなんですか。

○シャトルランと持久走です。

○中学校もシャトルランがありますか。持久力ですか。

○持久力です。中学校は男子が1,500m走と、女子が1,000m走です。

○ボール投げについては野球経験者の方に講師になってもらう実践もしていますが、なかなかすぐ

には成果が出ていない状況です。長い目で見ていただければと思っています。

○この項目でどのくらいデータが取られているのですか。

○学力・学習状況調査と同じくらいの時期にスタートしたと思いますので、平成20年度からスタートしていると思います。過去何年間分かはございます。

○統計的に見てどういう傾向にありますか。

○子供たちが変わっていくので昨年度と比べてみても、その学年の傾向というのものもあるものですが、なかなか一概には言えませんが、やはりボール投げは同じように低いというのがあります。

○ボール投げに関しては、私もバレーを教えているのでよく分かりますが、とんでもない投げ方ですよね。女の子は特に。手足が同時に出たり、投げ方も肩が回らなかったり。

中学から直すというのも無理だと思うので、とにかく小学校の低学年から、というよりも幼稚園とかそういうところで、ボール遊びをさせないと改善できないと思うのです。学校だけでという問題ではない、遊びからやっけていかないと、と思います。

○当たっても怪我をしないボールを使って練習するなど、色々工夫してやっていただいているのですが、経験不足というの、多々あるのかなと思います。

○何にも教わってない子は砲丸投げです。肩を回すというより。これじゃ、飛ぶわけ無いです。

腰を回転させる、ひねるということもできないですよね。膝を使うとか。全身でうまく色々なところを使って投げないと飛ばないので。経験ですよね。これは本当に。

(6) 中央図書館

<質疑・意見>

なし

(7) 文化財課

<質疑・意見>

なし

7 協議事項

なし

<質疑・意見>

なし

8 その他

なし

9 次回教育委員会の日程確認

・臨時教育委員会

日時：平成30年3月2日（金） 午後5時30分から

会場：市役所西庁舎 3階 特別会議室

・定例教育委員会

日時：平成 30 年 3 月 22 日（木） 午後 5 時 30 分から

会場：市役所西庁舎 3階 特別会議室

10 閉会